

平成26年度事業報告
(自 平成26年4月1日 ～ 至 平成27年3月31日)

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

I. 美術館運営事業

1. 展覧会の開催

MOA美術館及び箱根美術館を、年間300日以上開館運営し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ、所蔵する日本及び東洋の美術品をテーマに沿って展示すると共に、他館との協力のもと優れた美術品を一堂に集めた特別展・企画展・平常展・小企画展を開催した。

(1) MOA美術館（総入館者数 315,101名）

① 特別展

○平成26年7月11日～9月3日（期間入館者数 43,502名）

光のアートで遊ぼう！

国内外で活躍するメディア・アーティストによる、子どもから大人まで楽しめる光の現代アートを紹介。作品の前に立ち、身体を動かしたり、触れたりすることで、美しく、おもしろく変化する体験型アートの作品を展示した。

出陳件数 10件

主 催 MOA美術館

後 援 静岡県、静岡県教育委員会、熱海市、熱海市教育委員会

○平成26年10月31日～12月24日（期間入館者数38,600名）

「第19回MOA岡田茂吉賞」

MOA岡田茂吉賞は、昭和63年、日本美術界の発展に寄与することを目的として設立され第19回を迎えた。本年度は、工芸部門のみとし、美術界の第一線で活躍する23名の研究者が、近年で最も活躍した作家の作品を推薦した。

大賞作品1点・招待作品24点、新人賞作品3点・招待作品15点の計43作品展示をした。

出陳件数 43件

主 催 MOA美術館

○平成27年2月4日～3月3日（期間入館者数 106,756名）

尾形光琳300年忌記念特別展 燕子花と紅白梅 光琳アート光琳と現代美術
尾形光琳の没後300年忌に際して、光琳の二大傑作である国宝「燕子花図屏風」と国宝「紅白梅図屏風」を同時に展覧する特別展を開催した。本展では、光琳100年忌・200年忌等で紹介された光琳の名品、並びに、光琳の影響が窺える現代美術を展覧し、光琳芸術の系譜を概観した。

出陳件数 43件

主 催 MOA美術館、日本経済新聞社

後 援 静岡県教育委員会、熱海市教育委員会

特別協力 根津美術館
協力 三越伊勢丹ホールディングス

② 企画展

○平成26年9月26日～10月28日（期間入館者数 20,472名）

又兵衛「豊国祭礼図屏風」と「浄瑠璃物語絵巻」

又兵衛と風俗画の関わりを探る上で重要な作品である「豊国祭礼図屏風」と「浄瑠璃物語絵巻」を同時に公開し、その画業に迫った。さらに、「山中常盤物語絵巻」、「堀江物語絵巻」、「官女図」、「寂光院図」などの又兵衛作品、「湯女図」、「機織図屏風」といった又兵衛の強い影響がうかがわれる作品を一堂に展示した。

出陳件数 9件

主 催 MOA美術館

③ 所蔵企画展

○平成26年3月14日～4月9日（期間入館者数 19,482名）

所蔵企画展 桜花の宴 重要文化財 花見鷹狩図屏風

出陳件数 重要文化財1件を含む29件

○平成26年4月11日～5月7日（期間入館者数 18,716名）

所蔵企画展 江戸の華 琳派展

出陳件数 重要美術品1件を含む30件

○平成26年5月9日～6月11日（期間入館者数 14,190名）

所蔵企画展 近代日本画の華 竹内栖鳳展

出陳件数 32件

○平成26年6月13日～7月6日（期間入館者数 19,933名）

所蔵企画展 浮世絵の華 春章「婦女風俗十二月図」と「雪月花図」

出陳件数 重要文化財3件を含む18件

○平成26年9月6日～9月24日（期間入館者数 12,028名）

所蔵企画展 北斎「富嶽三十六景」

出陳件数 46件

○平成27年1月1日～2月1日（期間入館者数 15,824名）

所蔵企画展 新春を寿ぐ近代日本美術

出陳件数 63件

○平成27年3月6日～4月15日（期間入館者数 28,239名）

所蔵企画展 コレクションに見る桜の美術

出陳件数 重要文化財1件、重要美術品1件を含む28件

④ 平常展

- 4月展観 ○平成26年4月1日～4月30日（総入館者数 20,251名）
国宝1件、重要文化財12件、重要美術品7件を含む97件からなる平常展を開催した。
- 5月展観 ○平成26年5月1日～5月31日（総入館者数 16,220名）
国宝1件、重要文化財8件、重要美術品11件を含む94件からなる平常展を開催した。
- 6月展観 ○平成26年6月1日～6月30日（総入館者数 17,028名）
国宝1件、重要文化財2件、重要美術品7件を含む68件からなる平常展を開催した。
- 7月展観 ○平成26年7月1日～7月31日（総入館者数 15,009名）
国宝1件、重要文化財2件、重要美術品7件を含む68件からなる平常展を開催した。
- 8月展観 ○平成26年8月1日～8月31日（総入館者数 32,371名）
国宝1件、重要文化財6件、重要美術品4件を含む78件からなる平常展を開催した。
- 9月展観 ○平成26年9月1日～9月30日（総入館者数 16,443名）
国宝1件、重要文化財10件、重要美術品6件を含む112件からなる平常展を開催した。
- 10月展観 ○平成26年10月1日～10月31日（総入館者数 18,702名）
国宝1件、重要文化財4件、重要美術品2件を含む96件からなる平常展を開催した。
- 11月展観 ○平成26年11月1日～11月30日（総入館者数 21,146名）
国宝1件、重要文化財1件、重要美術品2件を含む80件からなる平常展を開催した。
- 12月展観 ○平成26年12月1日～12月24日（総入館者数 16,938名）
国宝1件、重要文化財1件、重要美術品2件を含む80件からなる平常展を開催した。
- 1月展観 ○平成27年1月1日～1月31日（総入館者数 14,988名）
国宝2件、重要文化財5件、重要美術品9件を含む77件からなる平常展を開催した。
- 2月展観 ○平成27年2月1日～2月28日（総入館者数 87,926名）
国宝1件を含む12件からなる平常展を開催した。
- 3月展観 ○平成27年3月1日～3月31日（総入館者数 38,079名）
国宝2件、重要文化財8件、重要美術品13件を含む74件からなる平常展を開催した。

(2) 箱根美術館（総入館者数 158,982名）

① 常設展示

- 平成26年4月1日～平成27年3月31日
重要文化財1件を含む94件からなる、縄文から江戸時代にわたる日本古陶磁を中心とした常設展示を開催した。
- 別館においては、第1展示室にてMOA岡田茂吉賞受賞作家の作品10点を展示した。また年間を通して、創立者岡田茂吉が提唱した事業を、解説及び写真パネル等により紹介した。

② 特別企画展

- 平成26年9月9日～10月8日
特別企画展「吉田博展—自然へのまなざし—」を開催した。
出陳件数 37件
- 平成26年10月10日～12月24日
特別企画展「保永堂版 東海道五十三次展」を開催した。
出陳件数 前後期合計 65件
- 平成27年1月1日～2月9日
特別企画展「近代日本の木版画展」を開催した。

③ 小企画展

- 平成26年4月1日～5月23日
「板谷波山展」
出陳件数10件
- 平成26年5月24日～12月24日
「青花のやきもの展」
出陳件数10件
- 平成27年1月1日～3月31日
「中国明・清の陶磁展」
出陳件数10件

(3) 平成27年度以降のMOA美術館展示企画の立案

① 特別展

- 平成27年7月24日～9月9日
ふしぎな万華鏡ワールド
- 平成27年9月4日～10月13日
平松礼二・森口邦彦展
- 平成27年10月16日～11月17日

日本工芸会東日本・東海選抜展
日本工芸の現在性

② 所蔵企画展

○平成27年4月17日～5月13日

所蔵企画展 近代風景版画の巨匠 吉田博

○平成27年5月15日～6月17日

所蔵企画展 又兵衛 山中常盤物語絵巻

○平成27年6月19日～7月22日

所蔵企画展 江戸の華 肉筆浮世絵 ―師宣・春章・歌麿・北斎―

○平成27年11月20日～12月24日

所蔵企画展 琳派の美 光悦・宗達から抱一まで

2. 賛助会員（友の会）の募集

(1) 会員数 12,201名

3. その他

(1) 季刊誌の発行

財団活動を広く知らせるための「MOA美術館 美の友」誌を、4月・7月・10月・1月の4回発行し、MOA美術館来館者と友の会会員に配布した。

(2) 美術品や美術品画像データ等の貸出と意匠の許諾など

国内12件、13会場の国内外展覧会に対して、国宝1件、重文9件を含む106件の所蔵美術品を貸し出した。〈詳細別紙添付〉

II. 表彰・コンクール事業

1. MOA岡田茂吉賞

MOA岡田茂吉賞は、昭和63年、日本美術界の発展に寄与することを目的として設立され第19回を迎えた。本年度は、新たな試みとして、選考対象を工芸部門のみとし、美術界の第一線で活躍する23名の研究者が、近年で最も活躍した作家の作品を推薦した。また、若手工芸家の育成を目的として、新人賞を創設した。

(1) 表彰

表彰式：平成26年10月31日（金）於：MOA美術館応接室

展覧会：「第19回MOA岡田茂吉賞展」

会期 平成26年10月31日から12月24日

(2) 賞の種類と点数

審査会 平成26年6月22日（日）

(a) 審査委員

荻野アンナ 慶應義塾大学教授・作家

金子 賢治 茨城県陶芸美術館長
 河合 正朝 慶應義塾大学名誉教授
 佐々木正直 群馬県立館林美術館長
 白石 和己 山梨県立美術館長
 宮田 亮平 東京藝術大学長
 室瀬 和美 漆芸家・重要無形文化財保持者
 内田 篤呉 MOA美術館長

(b) 授賞作品

大 賞 山本晃 切嵌象嵌接合せ箱「夕凧」(金工)
 新 人 賞 甲斐幸太郎 (木工)
 新 人 賞 新里明士 (陶芸)
 新 人 賞 新田源太郎 (染織)

2. MOA美術館全国児童作品展

美を通して心の教育、「美育」を進めていくべく、家庭、地域、学校と連携し、日々取組んでいる創作活動を奨励することで、「生命を尊ぶ心」「心豊かな人間」形成を目的として第26回MOA美術館全国児童作品展を実施した。

(1) 選考方法

- ① 地方展：実行委員会による地方展が国内380会場、海外24会場で開催され、応募作品449,541点から各会場が行う審査会において最優秀作品を決定した。
- ② 全国展：地方展で選ばれた各会場最優秀作品をMOA美術館に集め、文部科学省の教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、書道協会会員等で構成される全国展審査委員会において、全国展入賞入選作品300点を選考し、文部科学大臣賞などの各賞を決定した。

(2) 賞の種類と点数

① (個人の部)

賞 名	絵画	書写
(a) 文部科学大臣奨励賞	6点	6点
(b) 外務大臣賞	3点	—
(c) 厚生労働大臣賞	1点	1点
(d) 農林水産大臣賞	1点	1点
(e) 日本PTA全国協議会会長賞	1点	1点
(f) 全国子ども会連合会会長賞	1点	1点
(g) ボーイスカウト日本連盟理事長賞	1点	1点
(h) 審査員賞	1点	1点
(i) 金賞	4点	2点
(j) 銀賞	20点	5点
(k) 銅賞	30点	10点

② (団体の部)

(a) 文部科学大臣奨励賞学校奨励賞 6校 (8,909校中)

平成16年より、学校・地域・家庭ぐるみの豊かな情操教育の充実に寄与し、優秀な作品を多く輩出している小学校に対して、文部科学省より文部科学大臣奨励賞学校奨励賞を以下の6校に下付。

北海道 函館市立 南本通小学校
青森県 八戸市立 小中野小学校
京都府 福知山市立 惇明小学校
奈良県 大和郡山市立 郡山南小学校
島根県 浜田市立 原井小学校
広島県 廿日市市立 廿日市小学校

(b) 厚生労働大臣賞 2 児童作品展実行委員会

児童作品展を中心に、地域の医療機関での作品展示、ボランティア協力、地域のコミュニティ施設等での日本文化の実践等を通じて、子どもたちの健全なる育成に寄与する活動をしている実行委員会に対して、厚生労働省より、厚生労働大臣賞を以下 2 児童作品展実行委員会に下付

東京都大田区児童作品展実行委員会
石川県金沢児童作品展実行委員会

(3) 表彰ならびに展覧会の開催

- ① 表 彰：表彰式を平成 27 年 2 月 8 日（日）に、外務省国際文化交流審議官 新美 潤氏、農林水産省生産局長 松島浩道氏他の来賓を迎え、館内能楽堂に於いて開催した。
- ② 展覧会：平成 27 年 1 月 1 日～2 月 25 日 於：円形ホール
- ③ 後 援：文部科学省、外務省、農林水産省、厚生労働省、日本ユネスコ国内委員会、公益社団法人日本 P T A 全国協議会、公益社団法人全国子ども会連合会、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、全国新聞社事業協会、公益財団法人海外日系人協会、全国連合小学校長会
- ④ 図 録：全国展の入賞作品、感想文、歴代受賞者の歩みをおさめた「第 26 回 M O A 美術館全国児童作品展」の図録を作成し、関係者に配布した。

3. その他の顕彰・奨励

(1) 日本伝統漆芸展 M O A 美術館賞

日本工芸会が、漆芸の健全な発展に寄与するため、昭和59年より日本伝統漆芸展を全国規模の公募展として開催しており、この充実・発展と奨励のため、第31回日本伝統漆芸展 M O A 美術館賞への奨励金を交付した。

(2) 日本伝統工芸展奨励賞

日本工芸会が、我が国工芸の健全な発展に寄与することを目的として、昭和29年より日本伝統工芸展を全国規模の公募展として開催しており、こ

の充実・発展と奨励のため、第60回日本伝統工芸展奨励賞への奨励金を交付した。

(3) 日本工芸会東日本伝統展MOA美術館賞

日本工芸会東日本支部が、伝統工芸技術の保存育成を目的として作品を公募して優秀な作品を奨励しており、この充実・発展と奨励のため、第54回東日本伝統工芸展MOA美術館賞への奨励金を交付した。

Ⅲ. 体験活動等の事業

1. 日本文化の体験

茶道具等に触れて抹茶を喫する茶の湯を通して、日本文化を体験する事業を、MOA美術館の茶の庭内の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭において行うとともに、当館及び外部における茶会などを行った。

(1) 茶会

① 第29回光琳乾山忌茶会（参会者数 568名）

創立者の構想に基づき造営した京都広沢池畔・平安郷において、尾形光琳、尾形乾山の命日に因み、顕彰する茶会を開催した。

期日：平成26年6月2日 339名・3日 229名

会場：京都・平安郷 嵯峨広沢池畔

席担当：濃茶席 藤田美術館

薄茶席：名古屋美術青年会

薄茶席：MOA美術館

② 初釜

(a) 箱根（参会者数 82名）

期日：平成27年1月19日

会場：箱根神仙郷・山月庵

(b) 熱海（参会者数 115名）

期日：平成27年1月27日

会場：MOA美術館・一白庵

(2) 夏休み能楽サークル

第30回夏休み能楽サークル（参加者 244名）

① 期日：平成26年8月9日（小中学生 28名、高大生 4名、保護者 212名）

② 内容：能楽器体験（小中学生対象）

能楽講座（保護者対象）

能楽観賞 能：「鶉飼」宝生流 小倉伸二郎 他

狂言：「成上り」和泉流 野村 萬斎 他

(3) 体験プログラム — 伝統工芸作家によるワークショップ

① 上絵付ワークショップ（参加数20名）

日時：11月1日（土）13：30～15：30

講師：前田正博氏（陶芸家・日本工芸会正会員）
内容：転写紙を使用しオリジナルデザインの食器を製作
参加費：1,300円
対象：小学生以上

② 沈金ワークショップ（参加数20名）

日時：11月8日（土）13：30～15：30
講師：鳥毛清氏（漆芸家・日本工芸会正会員）
内容：漆の小皿に沈金を施す
参加費：2,000円
対象：小学生以上

③ 鋳金ワークショップ（参加数14名）

日時：11月9日（日）13：30～15：30
講師：北村眞一氏（金工家・日本工芸会金工部会長）
広沢隆則氏（金工家・日本工芸会正会員）
内容：金属を溶かし、型に流しこんでペーパーウエイトを製作
参加費：1,500円
対象：小学5年生以上

④ 木工ワークショップ（参加数22名）

日時：11月23日（日・祝）13：30～15：30
講師：須田賢司氏（木工芸家・人間国宝）
内容：いろいろな木を組み合わせてマゴネットを製作
対象：小学4年生以上

⑤ 親子で竹トンボ作り（参加数9名）

日時：11月24日（月・振休）13：30～15：30
講師：藤沼昇氏（竹工芸家・人間国宝）
内容：小刀を使って親子で竹トンボを製作
参加費：500円
対象：小学4年生以上の親子

IV. 主催公演・講座・セミナー事業

1. 主催公演

伝統文化等の普及と芸術鑑賞会を通じた情操教育として、能楽堂における定期演能会や獅子舞、野外における薪能、フロアコンサート等の公演を行った。

(1) 定期演能会（入場者総数1,065名）

- ① 期日 平成26年5月6日（入場者数287名）
演目 能「邯鄲」宝生流 宝生和英 他
狂言「成上り」和泉流 野村万蔵 他
- ② 期日 平成26年11月22日（入場者数366名）
演目 能「龍田」観世流 観世清河寿 他
狂言「文蔵」大蔵流 山本泰太郎 他
- ③ 期日 平成27年2月28日（入場者数412名）
演目 能「杜若」観世流 観世喜正 他

狂言「文相撲」大蔵流 大蔵彌太郎 他

(2) 第30回MOA美術館薪能（L7広場特設会場）

① 期日 平成26年8月1日（入場者1,225名）

演目 能「八島」観世流 梅若 玄祥 他
狂言「梟山伏」和泉流 三宅 右近 他
能「殺生石」観世流 山崎 正道 他

② 期日 平成26年8月2日（入場者1,289名）

演目 能「百萬」宝生流 渡邊荀之助 他
狂言「長光」大蔵流 大蔵彌太郎 他
能「岩船」宝生流 辰巳満次郎 他

(3) 初春の舞 平成27年1月1日（220名）

熱海芸妓組合による新春の舞を、メインロビーにて公演

(4) 獅子舞 平成27年1月2日・3日（両日各3回公演、計1,377名）

横浜・関古式囃子保存会による獅子舞と囃子演奏を、能楽堂にて公演

(5) コンサート

① 能楽堂コンサート「吉田正記念オーケストラ」（4/27）

② アート&ミュージック — 海に見えるロビーコンサート

(a) 真野有奈・竹中紀江（ヴァイオリン・ピアノ、5/5）

(b) 菅原さおり（声楽・ピアノ、7/13）

(c) 吉田慶子・水野久恵（フルート・ピアノ、8/14）

(d) 池寄拳（ピアノ、9/14）

(e) Emi U l a a u g h（声楽・ギター、3/28）

③ 能楽堂コンサート「シンフォニエッタ静岡定期演奏会」（4/20）「シャルリエ

エ バッハ無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ、パルティータ全曲演奏会

2. 主催講座

(1) MOA光輪花クラブ

花の美しさを楽しみながら、植物から学び、花をいける体験を大切にして、豊かな情操を育むことを目的に、いけばなの講座の実施

① MOA光輪花クラブ 会員数 11,982名

日本人の自然観に基づき、季節の美を楽しみながら情操を高めていくいけばなを生涯教育として、いけばな教室（光輪花クラブ）を実施。

② 公共施設いけこみ 件数 約10,000箇所

花のある豊かな生活と町づくりを願い、地域社会の方々とともに、毎週公共施設へのいけこみ展示活動の実施。

③ 海外における活動

いけばなを通して、日本の自然観と自然の美を楽しみながら生活を豊かにしてきた精神文化を学び、日常生活に生かしていく。

(a) 光輪花クラブ

アメリカ・ペルー・アルゼンチン・ブラジル・チリ・韓国・ベルギー・フランス・スペイン・イタリア・ポルトガルで実施

(b) メキシコ生命科学芸術学院における花の授業

(c) タイ生命科学芸術学院における花の授業

④ MOA山月光輪花のいけばな展を各地で開催

3. 主催セミナー

(1) 源氏物語文学セミナー（参加者総数 1,320名）

- ① 開催日 平成26年4月15日、5月20日、6月24日、7月22日、
9月16日、10月21日、11月18日、12月16日
平成27年1月20日、2月17日、3月17日
- ② 講師 羽深恵美

V. 育成事業

青少年の健全な心と体の育成に資するために、学校・家庭・地域社会が広く一体となった、美による情操教育（美育）の一層の普及に努めた。

1. スクールプログラム

(1) 学校、社会教育施設等において、教育普及授業として館外講座を実施した。

平成26年

- 5月26日 横手市立大森小学校6年生（41名）
5月26日 秋田市立飯島南小学校6年生（81名）
5月27日 秋田市立河辺中学校2・3年生（104名）
7月15日 鳥取県立米子高校 工芸デザイン系列3年生（17名）
7月15日 鳥取県立米子高校 工芸デザイン系列2年生（25名）
9月9日 鳥取県立米子高校 工芸デザイン系列3年生（17名）
9月9日 鳥取県立米子高校 工芸デザイン系列2年生（25名）
9月10日 富士市立田子浦中学校
9月26日 函南町立東中学校

平成27年

- 1月14日 名古屋芸術大学（90名）
2月12日 仙台市立三条中学校1・2・3年（77・74・79名）
2月17日 港区立御田小学校6年生（85名）
2月18日 静岡大学大学院生（6名）
2月19日 熱海市立伊豆山小学校6年生（16名）
2月27日 伊豆の国市立大仁中学校2年生（132名）
3月12日 藤枝市立広幡中学校3年生（65名）

(2) 文化庁伝統文化親子教室授業

① 放課後子ども教室（和っ子クラブ）

共催：日本工芸会、伝統工芸復興支援実行委員会・教育委員会

平成26年

- 10月2日 石巻市立和渚小学校1～6年生の登録者38名（ボランティア20名）
絵付教室（転写紙でそば猪口に絵付け）
講師：前田正博、小山耕一、保立剛
- 11月27日 石巻市立和渚小学校1～6年生の登録者38名（ボランティア20名）
蒔絵教室（漆のスプーンに蒔絵）
講師：室瀬和美、田口義明、松崎森平

②伝統文化親子教室

共催：日本工芸会、伝統工芸復興支援実行委員会・教育委員会
平成26年

12月10日 石巻市立和湊小学校3・4年生（39名）
ガラス教室（ペーパーウェイト作り）
講師：白幡明、気賀澤雅人、小川郁子

平成27年

1月22日 石巻市立和湊小学校5・6年生（48名）
漆芸教室（漆の銘々皿に沈金）
講師：鳥毛清、鳥毛美穂

(3) 中学生の職場体験学習

熱海市立初島中学校2年生（1名）、熱海市生涯学習課 栗木氏同行

① 期日 平成26年1月22日

② 内容 MOA美術館の活動概要についての講義、館内見学、取り扱い実習

(4) 博物館実習の受入れ

京都造形芸術大学（1名）

① 期間 平成26年7月29日～8月6日

② 内容 講義、バックヤード見学、取り扱い実習、課題学習、薪能の受入れ

(5) 美術館を楽しむ体験コース

① 箱根美術館「2014夏休み わくわく体験プログラム」

(a) 期間：平成25年7月20日～8月31日

(b) 内容：子どもたちが楽しく美術館や美術品、そして各種の体験型学習に触れ、その中で学びながら情操を高めていく事業

(c) 催し物

- ・ アドベンチャークイズ 303人
- ・ 生け花体験 10人
- ・ 茶の湯体験 10人

2. 花による美育活動の推進

MOA美術文化インストラクターの育成と資格の付与

(1) インストラクター数 5,046名

(2) インストラクターの資質向上を図る研修会を、美術館及び各地区で開催

(3) インストラクター更新研修（年1回）を各地で実施

(4) 新規インストラクター審査を実施し、新たに32名に資格付与

3. MOA美術館児童合唱団の充実と体制整備

合唱と美術鑑賞を合わせて楽しむことによって、音楽教育における感性育成を目的とした児童合唱団の活動を行った。

（団員数 10名、活動日数 41日 コンサート・出演数 3回）

VI. 経営基盤の拡充

1. 経営改善

- (1) 顧客満足循環型経営への改善（職員によるワークショップの充実）
「市民に開かれた美術館」、「新しい公共性」をもった美術館をめざして、行政と観光関連団体との協働による顧客満足型経営への改善を図った。

①「第三回 熱海ブランド『A-PLUS』フェア」

地域産業の魅力紹介と町づくりに向けて、商工会議所との協働企画

- (a) 開催日：平成26年6月15日・16日（2日間）
(b) 参加出店数：10店（10品目の認定商品を含む36品目を各店が販売）
(c) 主催：「熱海商工会議所」とのコラボレーション企画

②「第四回 熱海ブランド『A-PLUS』フェア」

- (c) 開催日：平成26年12月23日・24日（2日間）
(d) 参加出店数：10店（10品目の認定商品を含む36品目を各店が販売）
(e) 主催：「熱海商工会議所」とのコラボレーション企画

③「熱海カフェ」

来館者の要望と満足度アップに向けた試行実験として、熱海純喫茶組合の協力を得て実施

- (a) 開催日：平成26年7月26日から8月17日まで（23日間）
(b) 場所：茶の庭「花の茶屋」
(c) 利用客：3,155人
(d) 主催：「熱海純喫茶組合」（組合が営業するコラボレーション企画）

④ 夏の羊毛フェルト・ワークショップ

- (a) 開催日時：平成26年8月16日（土） 午前11時～午後4時
(b) 参加数：71人

⑤ 大道芸パフォーマンスと体験イベント

- (a) 催日時：平成26年8月18日（月）～8月20日（水） 3日間
・ 午前11時30分～・午後1時30分～（各約50分）
(b) 参加数：557人（内訳：8/18=231人、8/19=133人、8/20=193人）

⑥「あたみ湯ったりアートフェスティバル2014」

熱海市の要請により、秋季における熱海への集客に向けた取り組みとして、平成25年から“熱海シティープロモーション”秋のテーマ「文化とグルメ」の企画をMOA美術館が中心となり推進することが決まり、平成26年9月から12月の3ヶ月間、「あたみ湯ったりアートフェスティバル2014」を開催した。

- (a) 開催日：平成26年9月13日から12月24日まで（97日間）
(b) 催し物：

i) 熱海菓子まつり

・ 開催日時：

平成26年11月8日（土）9日（日）15日（土）16日（日）

10時30分～14時

- ・ MOA美術館において20数年ぶりに「熱海菓子まつり」を開催。熱海菓子商工業組合への加入は36事業所あり、静岡県内で一番高い組織率。
- ・ 菓子道具の展示：
臼、杵・まんじゅうの焼きごて、打型など 丹那屋他
- ・ お菓子に関するパネル展示 担当：間瀬
- ・ 菓子作り体験：1回あたり5人～10名
- ・ 和菓子づくり体験：担当 大田屋
- ・ 季節のお菓子販売：
みなみ製菓、間瀬、熱海バッファマン、ファーム高輪倶楽部、菓子の木

ii) アート&ミュージック (10/4～12/21、2階メインロビー等、23回)

- ・ 武内いづみ (クラシック、10/4)
- ・ 富田有重 (ヒーリング、10/5)
- ・ ATAMI JAZZ PROJECT (ジャズ、10/11)
- ・ 石川晃・笹崎雅道 (クラシック、10/12)
- ・ アキダス (ポップス、10/13)
- ・ 区愛美 (ポップス、10/18)
- ・ 中村由利子 (ピアノインスト、10/19)
- ・ 富田有重 (ヒーリング、10/25)
- ・ 村上通 (ポップス、10/26)
- ・ 菅原さおり (声楽・ピアノ、11/2)
- ・ 池寄拳 (ポップス、11/3)
- ・ ATAMI JAZZ PROJECT (ジャズ、11/8)
- ・ 山口佳名子 (ヴァイオリン・ピアノ、11/9)
- ・ ATAMI JAZZ PROJECT (ジャズ、11/8)
- ・ 山田岳 (クラシック、11/16)
- ・ アキダス (ポップス、11/23)
- ・ 石川晃・笹崎雅道 (クラシック、11/24)
- ・ 白鳥マイカ (ポップス、11/29)
- ・ 武内いづみ (クラシック、11/30)
- ・ アキダス (ポップス、12/6)
- ・ 石川晃・笹崎雅道 (クラシック、12/7)
- ・ 真野・阿部羅 (ヴァイオリン・ピアノ、12/14)
- ・ 中村由利子 (ピアノ、12/21)

iii) 漫画フェア

- 円形ホールにて版画（ピエゾグラフ）作品の展示と販売
- ・井上直久展
10月17日（金）～22日（水）
- ・松本零士展
10月31日（金）～11月5日（水）
- ・手塚治虫展
11月21日（金）～28日（金）

iv) 熱海カフェ（9/13～12/24、花の茶屋、土日祝日）
※紅葉の期間 11/22～12/7は無休開館した

(2) 観光客の誘致・誘客の改善強化など

- ① 熱海市近郊施設への「前売り券」の取り組み
 - ② 熱海寮保養所協会との特別提携
 - ③ 宿泊施設対象の「特別入館チケット」の取り組み
- (3) コスト削減と増収に向けた経営改善計画案などの策定
「経営改革提言書」を策定し、それに基づいてコスト削減に向けた改革に努め、本年の削減目標を達成した。
- (4) 寄付金制度（ファンドレイジング）の推進
- ① 昨年度作成した寄付金募集チラシを、美術館内に常備した他、国内外の財団支援者へ、また児童作品展表彰式等の財団諸行事の都度、配布し、周知徹底に努め、一定の成果を得た。（寄付金総件数 937 件）
 - ② 昨年度構築したインターネットによる寄付金システムを利用して、41 件の寄付があった。

2. 入館者増加をめざした取り組み

(1) 広報・営業活動の推進

- ① ホームページの更新
 - (a) 展覧会をはじめイベント行事などの情報を、早めにアップするようになった。
- ② フェイスブックの充実
 - (a) 展覧会の見どころ、イベント情報などをリアルタイムでアップ。
 - (b) 「いいね」の獲得数をバロメーターに顧客ニーズを掌握、内容充実に努めた。（3月末時点「いいね」数 3,899 人）
- ③ マスコミへの情報提供
展覧会、催し物等の情報を積極的に配信、取材に協力をしてきている。
- ④ メールマガジン（アートインフォメーション）配信（2,200 名、毎月 2 回）
- ⑤ ポスター掲示・チラシ配布
MOA美術館展覧会イベントポスターを年間 6 回作成し、熱海市内 373 か所及び全国 259 か所に掲出依頼。

- (2) 地元市民に開かれた美術館に向けての取り組み
- ① 熱海市役所・熱海市観光団体（観光協会、ホテル旅館協同組合、商工会議 所）との連携強化を図った。
 - ② 各団体への行事・研修・会議の誘致
 - ③ 受入行事
 - (a) 第4回 熱海ブランド「A-PLUS」認定式（10/25、応接室1～3）
 - (b) 熱海市成人式（1/11、能楽堂）
 - (c) 熱海ジュニアグランプリ表彰式（1/18 午前、能楽堂）
 - (d) 熱海市PTA協議会教育講演会（1/18 午後、能楽堂）
 - (e) 熱海市地震防災講演会（2/14、能楽堂）
- (3) 無料ゾーン設定に向けた取り組み
より多くの人々が集う美術館になることを願い、有料エリアと無料ゾーンの試験的設定を行ってきた。この実験から得たことを改修時に活かし、新しい公共性を持った美術館へと変わっていきたい。
- (4) 経産省・観光庁の広域観光圏創出への事業参加
地元行政、協力企業と共に省庁に事業参加を今後の検討とした。

3. MOA美術館友の会の拡大

入館者の増加を図り、加えて美術館活動の財政基盤となる「友の会」の拡大を図るため、各地で「友の会茶会」を開催し、友の会会員の増加に努めた。

(1) 友の会茶会

① 関西 友の会茶会

- (a) 開催日：平成26年4月12日（土）、13日（日）
- (b) 会 場：大阪城公園西の丸庭園内茶室「豊松庵」
- (c) 参加数：1日目114名、2日目105名 合計219名

② 中国 友の会茶会

- (a) 開催日：平成26年10月21日（火）、22日（水）
- (b) 会 場：島根県 松江市 赤山茶道会館
- (c) 参加数：1日目103名、2日目67名 合計170名

(2) MOA美術館友の会の拡大

① 「友の会」及び近隣住民を対象とした芸術啓蒙活動

(a) 箱根美術館 紅葉の神仙郷と秋の催し

期 日：平成26年11月3日～30日（来館者53,031名）

場 所：箱根美術館と神仙郷

内 容：友の会会員をはじめ、一般来館者、美術館協力者とその家族や知人、近隣住民を対象に、紅葉の美しい箱根美術館において、各種の芸術に楽しんでいただき、美術館活動の一層の啓蒙を進めた。

各催し物：抹茶席 真和亭立礼席・広間席

特別公開：庭園「石楽園」、施設「日光殿」と前庭

特別公演：「琉球舞踊」照屋倫子社中 於：日光殿

特別公演：「薩摩琵琶演奏」高久穂芳、川原田容子 於：日光殿

4. 施設の貸与事業

茶室（一白庵、真和亭）、能楽堂などを、伝統文化の普及をはじめ当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人への施設の貸出を積極的に行った。

(1) MOA美術館 茶の庭施設の貸出

① 第30回光琳茶会

(a) 開催日：2月22日・23日

(b) 席主

青々庵：濃茶席 神通青山居（東京）

樵亭：薄茶席 戸田一玄庵（大阪）

一白庵：薄茶席 MOA美術館

(c) 参加者：521名（内訳：2月22日283名、同23日238名）

(2) 能楽堂の貸出

① 熱海市及び熱海市PTA行事

(a) 熱海市成人式（500名）

期日：平成27年1月11日

主催：熱海市教育委員会生涯学習課

(b) 第14回アタミ・ジュニアグランプリ表彰式（200名）

期日：平成27年1月18日

主催：熱海市青少年健全育成市民会議

(c) 熱海市教育講演会（270名）

期日：平成26年1月18日

主催：熱海市PTA協議会

講師：哀川 翔氏（俳優／タレント／歌手）

演題：「子どもに見せる背中」～こどものもつ夢、進路を導き支える親のあり方～

(d) 地震防災講演会（200名）

期日：平成27年2月14日

主催：熱海市危機管理課

講師：海上自衛隊 横須賀地方総監部 防衛部長 三輪 一雅氏

演題：「横須賀地方隊南海トラフ地震対処の概要」

② 静岡県教育研究会

(a) 静岡県教育研究会 道德教育研究部 夏季研究大会（300名）

期日：平成26年8月7日

(b) 静岡県教育研究会 音楽教育研究部 夏季研究大会（300名）

期日：平成26年8月8日

③ 第18回静岡県民俗芸能フェスティバル（550名）

期日：平成26年7月20日

主催：静岡県教育委員会文化財保護課

5. 美術館設備・施設（庭園を含む）改善・改修

(1) 改修コンセプトの明確化と実施計画の策定

改修委員会、事務局会、個別会合、現地視察を伴う打ち合わせ等、合計 26 回の会合を積み上げ、改修計画の細部まで詰めて検討を行った。

(2) 美術館の安全確保に向けた対策

① 施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての改善・改修

MOA美術館

(a) 本館内空調機器（温・冷水ポンプ、クリス冷凍機等）の不具合に対し、美術品保全およびお客様サービス向上のため、修繕および部品・消耗品交換等の対応を行った。

(b) 一白庵（茶室）においても、空調機器の補修（部品交換）を行った。

箱根美術館

(a) 竹林から本館に至る階段両側に手すりを設置し、来館者の安全確保に向けた工事を実施した。

② 美術館の防災、防犯の設備、危機管理体制の整備、強化

MOA美術館

(a) 火災報知器の不具合の修繕を行った。（茶の庭内各施設）

(b) 非常用自家発電設備の不具合の修繕を行った。

(c) 総合防災訓練を 10 月に実施し、伴い、旧来の防災マニュアルを見直し、改善した。

(d) 休館日の防犯体制強化の為、休館日における入館受付・警備を警備会社に依頼・実施した。

(3) 美術品保存に伴う展示環境及び展示方法の改善

日本各地や韓国の話題の美術館を視察し、最新の建築思想、展示環境、展示方法等を多角的に研究し、MOA美術館改修時に導入すべきあり方と施設・設備についての研究を進めた。

(4) MOA美術館改修に向けての調査・研究

MOA美術館の本格的な改修に向けて、施工業者との調整と完成度を高めるためプロジェクトマネジメント（PM）会社を導入することを決めた。

(5) 植樹をはじめ、庭園の改善に向けた検討

① 桜山構想をスタートし、館内庭園内に八重紅桜 12 本、ソメイヨシノ桜 18 本、御殿場桜 27 本、合計 57 本を植樹した。

② 熱海市の理解と支援を受け、近隣町内に桜苗木 44 本を植樹した。

③ 作庭からの経年に伴う樹木の成長から庭園意図を回復するため、箱根美術館のもみじの老木を成木に植え替え、庭園維持・改善に努めた。

6. 飲食及び物品販売

(1) MOA美術館飲食コーナーの運営

収益事業実施の認可を内閣府公益認定委員会から受け、茶の庭内施設「花の茶屋」にて「熱海カフェ」を開店した。

（熱海カフェ：営業日数 67 日 利用者数 6,325 名）

- (2) 箱根美術館売店の運営
箱根美術館の開館日に営業を行った。

□ 処務報告事項

1. 理事会並びに評議員会開催の件

- 理事会を平成 26 年 4 月 1 日より平成 27 年 3 月 31 日迄に 2 回開催した。
- 評議員会を平成 26 年 4 月 1 日より平成 27 年 3 月 31 日迄に 1 回開催した。

(1) 理事会に関する事

開催年月日		会議事項	
H. 26. 6. 12	議案	特定費用準備資金等取扱規程承認の件	可決
H. 26. 6. 12	議案	特定費用準備資金等承認の件	可決
H. 26. 6. 12	議案	平成 25 年度 事業報告及び会計報告承認の件	可決
H. 26. 6. 12	議案	業務執行理事会運営規則承認の件	可決
H. 26. 6. 12	議案	会員に関する規程変更承認の件	可決
H. 26. 6. 12	議案	定時評議員会開催の件	可決
H. 27. 3. 27	議案	平成 27 年度 事業計画書及び収支予算書承認の件	可決
H. 27. 3. 27	議案	平成 26 年度の事業報告	可決

(2) 評議員会に関する事

開催年月日		会議事項	
H. 26. 6. 27	議案	議長及び議事録署名人選出の件	可決
H. 26. 6. 27	議案	平成 25 年度 事業報告及び会計報告承認の件	可決

2. 職員異動の件

- (1) 採用職員 1 名
- (2) 退職職員 4 名
- (3) 職員数

	職員	男・男	女・女
計	44	23	21

以上